

# 麻酔科について

麻酔科 医長 篠塚 大

麻酔科は患者の苦痛を和らげ、手術による様々な体の変化に対応する専門分野です。当院では主に手術の際の全身管理に携わっております。例えば全身麻酔や鎮静状態で処置を行う場合、患者様の体感としては「いつの間にか眠っていて、気が付いたら処置が終わっていた」とよく言われますが、実はその間に体は複雑な麻酔の作用を受けています。それぞれの手術内容や患者様の状態に合わせて鎮痛薬や鎮静薬を慎重に配合し、迅速に副作用に対応できるよう常に生体情報を監視しています。

麻酔科学の発展や体に負担の少ない手術法が普及したことで、より安全に手術を行うことができるようになりましたが、現在もなお手術には重篤な合併症が発生するリスクが必ず伴います。このリスクを最小限にするために、患者様の健康状態や既往歴を把握し、手術中の血圧や呼吸状態などを安全に管理することが麻酔科の主な役割となります。また、手術による痛みやストレスは術後の回復にも大きな影響を与えることがあり、手術の前後を通して全身状態が良好に保たれるよう努めています。

麻酔の方法として、患者様が処置中の記憶を伴わない状態になる全身麻酔や、手術部位を含めた体の一部だけの感覚が消失する区域麻酔・局所麻酔などがあります。手術の内容や患者様の状態、ご希望を総合的に考慮して、最適な麻酔法を決定します。